



国語

傾向と対策

幅広い分野から出題され、総合的な国語力が試されるだろう！

大きく五問に分けられる。資料の読み取り、漢文、古文、小説文などの文学的文章、論説文からそれぞれ出題される。選択問題が中心で、記述問題は、問題数も字数も少ない傾向にある。選択肢の文章が比較的長めであるため、短時間で適切なものを選ぶことができない読解力が求められる。しっかりと時間配分をしながら問題を解く練習をする必要があるだろう。

兵庫県

試験の概要

推薦入学・特色選抜・連携型入学者選抜・多
部制Ⅰ期試験の適性検査・面接などは、二月
十六日(火) (一部の学校は十七日(水)) に実施さ
れる。

全日制課程の学力検査は五教科で三月十二日
(金)、総合学科の実技検査は十三日(土) に行わ
れる。ほかに、多部制Ⅱ期・Ⅲ期試験、通信制
課程などの入試もある(別日程)。



社会



用語を記述する問題が多く出るだろう！

大きく三問に分けられる。地理、歴史、公民の問題でそれぞれ構成される。地理や公民では、地形図や表、グラフなどを読み解いて考察する力を問う問題が見られ、歴史では、特定の出来事についての語句の組み合わせを選択させる問題や、起きた出来事の順番を問う問題が見られる。

理科



実験・観察から得られた資料をもとに計算する問題が出るだろう！

大きく五問に分けられる。大問一では、いくつかの分野から、基本的な問題が小問集合として出題される。大問二〜五は、生物、化学、地学、物理の問題でそれぞれ構成される。記述問題は少ないが、数値を計算する問題が多く出る。与えられたデータをもとに計算処理する力をつけておこう。

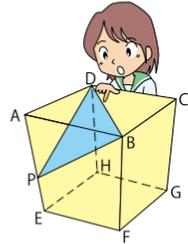
英語



思考力を問う問題が多く出るだろう！

大きく五問に分けられる。大問一はリスニング、大問二はメモなどを見て、それに関する英文に合う語句を選択したり、単語を書いたり、語句を抜き出したりする問題、大問三は長文の空欄に合う表を完成させたり、語句や見出しを選んだりする問題、大問四は対話文の内容読解問題、大問五は語形変化、適語選択の文法問題と、掲示板を見て、それに合う英文を完成させる問題が出る。文章量が多いので、素早く正確に英文を読み解く練習をし、資料を適切に読み取る力もつけておこう。「はば単」で示された単語は確実に覚えること。

数学



数理的な思考力を問う問題が出るだろう！

大きく六問に分けられる。大問一はさまざまな分野の小問集合、大問二〜六は、それぞれ関数、確率、平面図形などの問題で構成される。証明を完成させる問題や数理的な思考力を問う問題が出る。問題数が多いので、素早く正確に解く練習が必要になるだろう。